



# 試験成績書

依頼事項	ホルムアルデヒド試験	依頼者	安間製箸株式会社
		依頼処理担当者	ユニバーサルデザイン工芸科 山下里恵 伊藤 彰

平成20年9月18日に提出された試料につき試験した結果は、下記のとおりです。  
記

1. 供試材料 「ブラインド羽根」
2. 試験実施年月日 平成20年9月30日～10月1日
3. 試験機器 恒温水槽 (Personal H-10 INCUBATOR タイテック(株)製)  
光電比色計 (ホッショムスペクトロニック 20 (株)島津製作所製)、他
4. 試験方法

上記供試材料に適用する試験規格は無い。また、製品状態での入荷のため、採取できる試験片寸法が限定された。そこで、日本農林規格(JAS) 合板 別記 3 試験の方法 (5)ホルムアルデヒド放散量試験 (以下、規格) を準用し、試験片の寸法および枚数は、規格では長さ 150mm、幅 50mm、10 枚のところを、長さ 150mm、幅 25mm、20 枚にすることで、試験片両面の面積を規格と合致させ、下記の要領で実施した。よって、本試験の試験結果は、参考値とされた。また、試験片および放散試験の様子を写真1および2に示す。

9月18日提出の上記寸法の試験片を、ポリエチレン袋内に密封したまま、試験開始まで 20°Cに設定した恒温室で養生した。デシケーターの底に 300mlの蒸留水を入れた結晶皿を置き、その上に上記試験片 20 片を支持金具上に設置

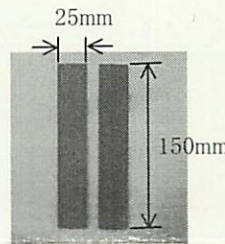


写真1 試験片

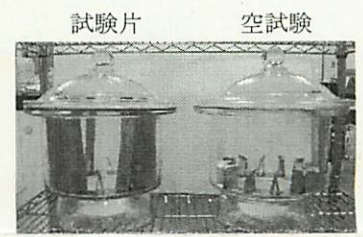


写真2 デシケーターでの放散試験

して密閉し、上記恒温室 (実測室温 20.0~20.4°C) で 24 時間静置した。その後、結晶皿中の溶液に含まれるホルムアルデヒドの濃度を、アセチルアセトン吸光光度法によって測定した。なお、空試験として、試験片を入れない状態で同様の試験を行い、試験片の測定値から空試験の測定値を差し引いた数値を本試験における試験結果とした。

5. 試験結果 ホルムアルデヒド濃度 0.0 mg/L (参考値)

平成20年10月2日

## 静岡県工業技術研究所長

